

施
工
手
順

1. 作業前の確認

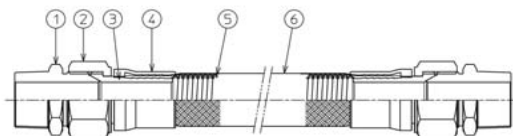


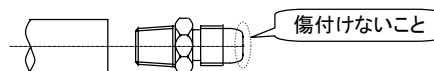
表1 部品表

品番	部品名	材質
1	オスアダプター	SUS304
2	袋ナット	SUS304
3	スリーブ	SUS304
4	プレスカバー	SUS304
5	チューブ	PTFE
6	ブレード	SUS304

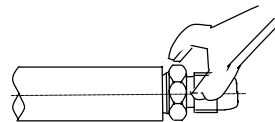
口径、長さが適正か
袋ナットとニップルのメタルシール面に傷が無いか

2. 配管への取り付け1

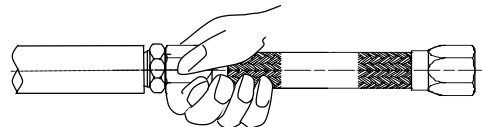
- ① 品番5のニップルを製品から取り外し、PTねじ部にシールテープを巻き付ける。
この時、反対側のシール面には絶対に傷を付けない様注意して下さい。



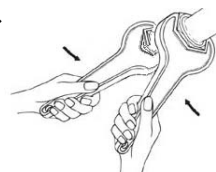
- ② 配管側ソケットにニップルをしっかりと捻じ込みます。



- ③ 手締めできる山数まで品番4の袋ナットを締め込みます。

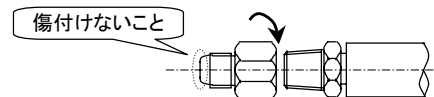


- ④ 最後にレンチでニップルを固定し、
袋ナットを締め付けて下さい。

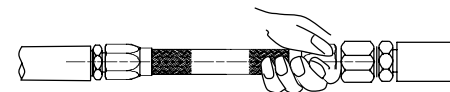


3. 配管への取り付け2

- ① 同様に反対側も品番5のニップルを製品から取り外し、シールテープを巻きつけ配管側に捻じ込み、レンチでしっかりと固定します。



- ② シール面に傷を付けない様注意しながら袋ナットをニップルにセットします。



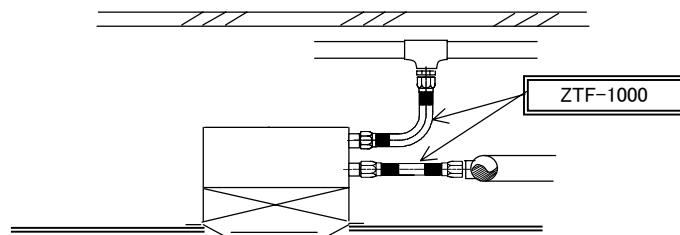
- ③ 手締めできる山数まで締め込み、ニップルをレンチで固定しながら、袋ナットを締め付けます。

(参考)

トルクレンチを使用する場合の適正締め付けトルクは次のとおりです。

口径	適正トルク値 N・m (kgf・cm)
10A	53.9~63.7 (550~650)
15A	58.8~73.5 (600~750)
20A	83.3~98.0 (850~1000)
25A	107.8~117.6 (1100~1200)

完 成



⚠ 注意事項

- ウォーターハンマーの発生が懸念される配管系では、フレキが損傷する恐れがあります。適切な衝撃防止対策を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないよう、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 管内流速(内径基準)が3m/secを超えない様に口径を選定して下さい。
- 袋ナットの締め付けに際しては、フレキの振れを防止するため、必ずニップルをレンチで固定して下さい。